

特別展

# 花の宮廷画家 ルドゥーテ

Pierre-Joseph Redouté:  
The Official Court Artist of  
Botanical Illustrations

会期 : 5.31[土]~7.21[日]

休館日 : 月曜日 (祝日の7月21日は開館)

開館時間: 9時30分~17時00分 (入館は16時30分まで)

観覧料 : 一般1,000円 (900円) 、大学生800円 (720円)

主催 : 下関市立美術館 読売新聞社 KRY山口放送

特別協力: コノサース・コレクション東京

企画協力: 青幻舎プロモーション

※( )内は平日料金。※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は、観覧料が免除されます。下関市内に居住する65歳以上の方は半額が免除されます。(いずれも公的証明書の提示が必要です)

## 展覧会のみどころ

- (1) 集大成『美花選』の全 144 点、バラ作品 15 点、貴重な肉筆画 3 点など 160 点余りを展示
- (2) 小・中学生が育てた花で美術館を彩る連携企画を実施
- (3) 講演会やワークショップを実施

## 展覧会について

現在のベルギー南東部ワロン地方にて代々画家を家業とする家に生まれたピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ (1759～1840) は、ルイ 16 世王妃マリー・アントワネットの博物蒐集室付素描画家として、そしてフランス革命後はナポレオン 1 世皇妃ジョゼフィーヌに仕えた宮廷画家として自然史博物館付植物画家・図画講師を歴任しました。ルドゥーテは植物画家として名高く、その高い技量から「花のラファエロ」「バラのレンブラント」とも称されています。

このたびはルドゥーテの集大成といえる植物図譜『美花選(Choix des plus belles fleurs)』(1827-33 年刊)の全 144 点と、貴重な肉筆画 3 点、そして彼の代表作『バラ図譜 (Les Roses)』(1817-24 年刊)より厳選された 15 点の 160 点余りにより、ルドゥーテの美しい植物画の世界へとといざないます。



『美花選』より《チューリップ》1827-33 年  
コノサース・コレクション東京蔵



『バラ図譜』より《ロサ・スルフレア》1817-24 年  
コノサース・コレクション東京蔵



肉筆画《赤のランタンキュラス、紫と黄色のパンジーの花束》1821年、コノサース・コレクション東京蔵

## 連携企画

### 学校の花で美術館を彩る

日 時：2025年5月31 日(土) ～ 6月11日(水)  
場 所：下関市立美術館 外庭  
内 容：特別展「花の宮廷画家ルドゥーテ」と連携し、市内の小・中学校で栽培している花を持ち寄り、美術館に展示します。学校での園芸活動の成果発表と芸術鑑賞が  
つながる体験を通して、児童・生徒だけでなく来館者のみなさまにとって  
自然と文化への係わりをより深く豊かなものとなる企画を目指しています。

## 関連催事

### ①【講演会】美しき花の姿を求めて～画家ルドゥーテのまなざし

日 時：2025年6月14日(土) 午後1時30分～(約1時間)  
場 所：下関市立美術館 講堂  
講 師：中村美砂子(一般社団法人日本ルドゥーテ協会副代表理事)  
定 員：60名(当日受付) ※要観覧受付

### ②【ワークショップ】お花屋さんが講師のフラワーアレンジメント講座

日 時：2025年6月7日(土) 午後1時30分～(約1時間)  
場 所：下関市立美術館 造形室  
対 象：小学生以上  
定 員：20名(要事前申込、先着順)  
参 加 費：3,000円

### ③【美術講座】ルドゥーテの生きた時代の美術

日 時：2025年7月12日(土) 午後1時30分～(約1時間)  
場 所：下関市立美術館 講堂  
講 師：関根佳織(当館学芸員)  
定 員：60名(当日受付) ※要観覧受付

### ④ ショート・トーク

内 容：展覧会の概要と見どころを約15分で解説します。  
日 時：会期中の火曜日 各日10時～、11時～、14時～、15時～(約15分間)  
会 場：下関市立美術館 講堂  
定 員：各回40名(当日受付) ※要観覧受付